

<令和5年12月定例記者会見>

1 開催日時

令和5年12月6日（水）午前10時～午前10時半

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、盛岡タイムス社、岩手日報社

4 発表事項

冒頭、武田市長より会見当日（6日）が最終日となっていたチャグチャグ馬コのクラウドファンディングが目標金額300万円を達成したことについて、報告と、寄付いただいた方へのお礼の言葉があった。

（1）滝沢はるかの販売について（観光物産課）

今年も滝沢はるか販売いたします。

一般社団法人滝沢市観光物産協会において、滝沢市内で収穫されたりんご『はるか』を、糖度計・蜜入りセンサーで計測し、どこよりも厳しい基準で選別した高品質のものだけを『～黄金の濃蜜りんご～滝沢はるか』として販売しています。

その「滝沢はるか」を12月7日（木）午前10時から、一般社団法人滝沢市観光物産協会のネットショップ「チャグまるしえ滝沢」で販売開始致します。

また、「そばかすはるか」は、本市ふるさと納税の返礼品での取扱いのほか、12月7日（木）午前9時から、ビッグルーフ滝沢の滝沢キッチン産直コーナーにおいて数量限定で販売致します。

現在、市内産直では今回選果した「はるか」を始め、その他美味しいりんごが好評販売中です。今年は霜被害と夏の猛暑で収穫量がかなり減ったため、合格したはるかはさらに希少なものになります。是非、この時期旬を迎えている滝沢市産りんごをお買い求めいただければと思います。

（2）令和5年度「しあわせアップ↑る！！～滝沢りんごキャンペーン～」について（農林課）

今年で2回目となる「しあわせアップ↑る！！～滝沢りんごキャンペーン～」が盛岡北郵便局において開催中です。実施期間は12/1～12/12までとなっております。

この企画は、令和3年度に市と日本郵便（株）との間で締結した包括連携協定を軸とし、幅広い分野で協力体制をとっていく活動の中で昨年度からスタートしたものです。

盛岡北郵便局をご利用された方へ応募用紙を配布し、抽選で10名の方へ滝沢市の特産品である「滝沢りんご」の詰め合わせギフトをプレゼントします。

年内に発送・到着予定ですので、日ごろお世話になっている方へのお歳暮や、遠くにいるご家族へのプレゼント、そして自分への1年間のご褒美など、送り先は様々お選びいただけます。年の瀬にふさわしい、当選したら少しハッピーな気持ちになれるイベントですので、たくさんのご応募をお待ちしております。

旬を迎えた「滝沢りんご」で“しあわせアップる！！”どうぞよろしくお願ひします。

（職員が描いた市長のPRイラスト紹介あり）

(3) 第2回SDTsデー「チャグジョブ滝沢お仕事体験事業」の実施について
(企業振興課)

市では、滝沢市商工会青年部、滝沢市商工会と共催して、第2回SDTsデー「チャグジョブ滝沢お仕事体験事業」と題した滝沢市内小学生を対象とした職業体験イベントを12月16日(土)にビッグルフ滝沢において開催することとしております。

本イベントは、職業体験イベントを通して市内企業等の周知を図るとともに、子どもたちの健全な育成に資することを目的として実施するものです。

タイトルの「SDTs」は、Sustainable Development Takizawa sowing(サステナブルディベロップメントタキザワソーイング)を略したもので、「持続可能な産業振興を滝沢市がしていくための種まき」という意味の造語です。

第1回となる昨年度は市民向けのワークショップを開催しましたが、今回は、子ども向けのお仕事体験を行うものです。

当日は、市内企業等合わせて15社が出展予定です。事業の周知及び取材についてよろしく願いいたします。

案件発表後、追加情報として、岩手県立大学で12月15日から始まるイルミネーションプロジェクトについて紹介があった。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：はるかについて、今年新たなランクを設けたとの話があったと思いますが、その通りでしょうか。

観光物産課長：今年は霜被害が大きかったことから、その救済、応援という意味で、通常のはるかの基準に満たない、糖度15度以下のものについても販売しています。

市観光物産協会事務局長：価格は6個入り3,500円、9個入り4,500円です。

オンラインショップで販売しています。名前は「滝沢市産はるか」としています。

記者：そばかすはるかはビッグルフで販売されるとのことですが、滝沢市産はるかもビッグルフで取り扱いがあるのでしょうか。

観光物産課長：ネット販売のみです。

記者：チャグチャグ馬コのクラウドファンディングについて、最終的な寄付額はいくらかでしょうか。

観光物産課長：まだ最終の締めにはなっていませんが、今日現在で330万円ほどの寄付をいただいています。

記者：遅霜と猛暑の影響でりんごの収量が見込めなかったとのことですが、市長から実際に食べてみての感想などをいただけますか。

市長：最初に食べたのは静岡県の菊川市でりんごの販売をお手伝いした際(11月19日の菊川市産業まつり)ですが、十分に甘くて、大変貴重なはるかをいただいたと思っています。今年のはるかの収量が例年の半分ということも聞いておりますし、生産者の皆さんが霜などの影響から生き残った果実を大切に育てたものだということを実感しました。蜜もたくさん入っておりますし、生産者の皆さんの努力に敬意を表したいです。

6 その他記者からの当日質問

記者：本年も12月を迎え、今年1年を振り返っての市長の所感をお聞かせください。

市長：11月20日で市長に就任して1年になりました。市民の皆さんからたくさんの意見をいただいた1年だったと思っています。第2次滝沢市総合計画を策定するにあたって、市長と話そうや、市政懇談会で多くの市民の皆さんから様々な意見をいただきました。その意見をもとに、第2次滝沢市総合計画を市民の皆さんと共有しながら確かな方向にもっていけたらと思っています。市民の皆さまと一緒にこれからの滝沢市の未来を創っていきたいと思います。地域での様々な行事にも参加させていただき、地元の伝統などに対する思いを感じながら、それらをどうやってさらに盛り立てていけばいいかと考えた1年でした。市民の皆さんが一人でも多く笑顔になってもらえるように、様々な課題をいただいたと思っているので、一つ一つ丁寧に考えていきたいと思っています。

記者：コロナが5類に移行し、人流が回復した皆さんの観光客が訪れたと思いますが、今年1年良かった点と、来年への期待を教えてください。

市長：チャグチャグ馬コでは初めて馬に乗って歩きましたが、過去最高の人出を記録し、滝沢市や盛岡市をたくさんの方が訪れました。特にビッグルーフ周辺に滞留する人も多く、滞留時間も長かったと思っています。訪れてくれた方がまた来たいなと思ってくれるように、これからも市の魅力をしっかり伝えていきたいです。

記者：今年を振り返っての課題点や、注力していきたい点があれば教えてください。

市長：市内の観光の魅力を高めていきたいです。中心拠点の開発も民間の開発で進んでおりますが、中心拠点ができることでビッグルーフ含め市役所前に多くの方が訪れてくれるようになればいいなと思っています。民の開発なのであまり口出しできるものではありませんが、しっかりと協力体制を整えながら、一緒にやっていければと思います。来年は市制10周年や総合計画のスタート、そして中心拠点についても市民の皆さんに様々な期待をもって見られていくものと思っています。その期待に対していかに応えていくかということが一番の課題だと思っています。